



TEL (075)951-2112

FAX (075)951-8430

ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/nagaoka4-jhs/cms/> ⇒E-mail nagaoka4-jhs@kyoto-be.ne.jp

「自分の感受性くらい 自分で守ろう」

校長 高橋 泰三

保護者の皆さま、地域の皆さま、日ごろは本校の教育活動についてご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。5月18日から3年生修学旅行及び20日の1,2年生校外学習が無事に終わりました。天候にも恵まれ、全ての行程を実施することができました。何かとご理解、ご協力を賜りありがとうございました。四中の修学旅行は、一昨年度から沖縄方面を訪れています。事前学習で今年も2月に京都府立大学の奥谷三穂先生をお招きして講演を聴きました。講演では、沖縄戦がどのようなものであったか、人々がどのような経験をしたのか、聞き取り調査や沖縄でのフィールドワークを通して研究されたことを教えていただきました。修学旅行では「平和」について考えることを目的の一つに掲げ、ひめゆりの塔



でセレモニーを行ったり、ひめゆり平和祈念資料館、クラシンジウガマやイリュージガマを見学したりしました。1年生は宇治市内を散策、2年生は神戸にある人と防災未来センターやJICA関西を訪れました。新しい方面に行ったり、学習内容を刷新したりしましたが、大変有意義な見学や体験ができました。また、電車やバス内のマナーなど、生徒たちの良い面をたくさん見ることができた校外学習となりました。活動の様子はHPや学年・学級だよりでも紹介しておりますのでご覧ください。

生徒の皆さんへ。修学旅行や校外学習では、本番や取組の中で楽しかったことや予定通りにできたことがたくさんあったと思います。集中するとき、頑張るとき、楽しむときの「切り替え」がきちんとできることは、四中の皆さんの素晴らしいところだと思います。この雰囲気大切に、これからも四中を盛り上げて行って欲しいです。一方で「課題」があったかもしれません。自分自身にとっての「課題」なのか、学級や学年にとっての「課題」なのか、「総括」でしっかりと明らかにしていきましょう。「課題」に対してどのように取り組んで改善していくか、これが更なる成長への大切なステップになると思います。そのようにして「行事」を経る毎に個人でも集団でも、さらに成長していけるといいですね。「課題」を「意識」し「改善」することはとても大切です。皆さんにとって、何が「課題」なのかを、限られた時間の中でいち早く見極めることが重要だと思います。

ひめゆり平和祈念資料館に展示されていた「ひめゆり学徒隊」について少し調べてみました。「ひめゆり学徒隊」とは、太平洋戦争末期の「沖縄戦」(1945年)において、沖縄県立第一高等女学校、沖縄師範学校女子部の女子生徒と教師で構成された学徒隊(学業に従事すべき中等学校以上の生徒が軍事や戦争支援のために動員された部隊や組織の総称)のことです。「沖縄戦」では日本軍の兵力や医療要員が足りず、それを補うため10代の学生までもが戦場に動員されました。特に女子生徒は、傷ついた兵士の看護、病院での雑務を担う「看護要員」として動員されました。「普通の生徒たち」が戦争に巻き込まれたのです。1945年3月23日、生徒222人、教師18人が沖縄陸軍病院に配属された、ということでした。そこでは、包帯を交換するなど人が看護の他、食事や水を運んだり、いわゆる「下」の世話をしたり、亡くなった方を運んだりしていたそうです。彼女たちは医療の専門的な知識をほとんど与えられない状態で、しかも極めて過酷な環境で働くことを余儀なくされました。彼女たちが働かされた場所は、「ガマ」と呼ばれる洞窟の中の「病院」でした。そこは、食料・水が不足、衛生状態が悪い、常に爆撃の危険があるなど、およそ「医療施設」とは言えないような状況でした。戦況が悪化した1945年6月18日、軍部により突然「解散命令」が出されました。これは「各自で行動せよ」ということで、実質的に戦場に放り出される形でした。その結果、砲撃・爆撃、飢餓や病気、自ら命を絶つ行為など、実に240人中136人が亡くなりました。その多くが解散命令後の数日間に集中していたそうです。戦後、亡くなった生徒たちを慰霊するため「ひめゆりの塔」が建てられ、隣に「証言」「遺品」「戦場の再現」を展示する平和祈念資料館が作られたのでした。

国家間の争いに抗うことは難しく、勝敗が決まるまでやり尽くす中で、人生を翻弄された「生徒たち」を想うとき、私たちにできることはあるのか分からなくなります。自らの生き方を考えることを奪われてしまった「生徒たち」が生きた時代を批判することは簡単ですが、そうではなく、現代の私たちは「主体的に生きている」と胸を張って言いたいのです。自分で判断して伸びやかに成長できる、やりたいことが思い切りできる、それを支える社会って大切ですね。今年、生誕100年(没後20年)となる詩人茨木のり子氏は「自分の感受性くらい、自分で守れ」と書きました。「学徒隊」の生徒たちは、この「守る」ことが許されない時代に生きました。だからこそ私たちは、自分の考えを持ち、自分で判断する力を大切にしなければならぬのだと思います。「主体的に生きる」ことの大切さ、様々な視点から考え続けたいものです。



守り神シーサー ロを開けているのがオス、閉じているのがメス

3年生【修学旅行】沖縄県



本校 HP にも修学旅行・校外学習の様子が掲載されています。ぜひご覧ください。

6月の予定

	曜	行事等	部活	給食
1	月	教育相談①		○
2	火	教育相談② 歯科検診		○
3	水	実行委員会(第3回) 歯科検診	×	○
4	木	教育相談③ 検尿二次		○
5	金	教育相談④ 検尿二次		○
6	土			
7	日			
8	月	教育相談⑤		○
9	火	教育相談⑥		○
10	水	検尿二次	×	○
11	木	職場体験(2年)		1・3
12	金	職場体験(2年) 教育実習終了		1・3
13	土	乙訓陸上		
14	日			
15	月		×	○
16	火		×	○
17	水		×	○
18	木		×	○
19	金		×	○
20	土	山城陸上		
21	日			
22	月	期末テスト①	×	×
23	火	期末テスト②	×	×
24	水	期末テスト③	×	×
25	木			○
26	金			○
27	土			
28	日			
29	月			○
30	火			○

毎年6月と11月の年に2回、教育相談を実施しています。生徒と学級担任が、日頃の心配事や気になること等を相談する機会になります。是非、面談のあった日には、ご家庭でも話の内容についてお子様と話す機会にさせていただけたらと思います。

2年生【校外学習】神戸市



1年生【校外学習】宇治市



「今年、こんな中学生になりたい！」

昇降口に、校長先生のアナウンスに対する生徒一人ひとりの素直な想いが掲示されています。



7月の予定

- 1日(水) 実行委員会④
- 3日(金) 3年実力テストA B
- 7日(火)～14日(火) 三者懇談(3年)
- 5日(日)、11日(土)、12日(日) 乙訓大会
- 17日(金) 終業式
- 18日(土)～ 山城大会
- 23日(木)～ 京都府大会

